

竹垣セット51型 施工マニュアル

(竹垣セット51型 53型) 共通

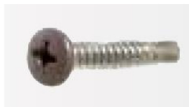
部材表

支柱（共通部材）	
支柱  60角・80角	支柱キャップ  Bタイプ

使用する板材について

本製品では、「杉板よしの」または「ベルード」のいずれかの板材を使用します。
 施工にあたっては、選定された板材に応じて以下の手順に従ってください。

共通部材			
チャンネル22 	胴縁22 	ジョイントハット 	ナベビス 4×16mm 

53型 よしの		51型 ベルード	
杉板よしの  ブラック・ブラウン・オーク	シントラスビス 4×25mm  よしのカラーにより異なります。	ベルード  ホワイト・グレー・ブラウン	シントラスビス 4×25mm 

一般的な横板張（片面）の施工部材になります。

板垣セット51型

杉板よしの 1,800mm
ベルード 2,000mm

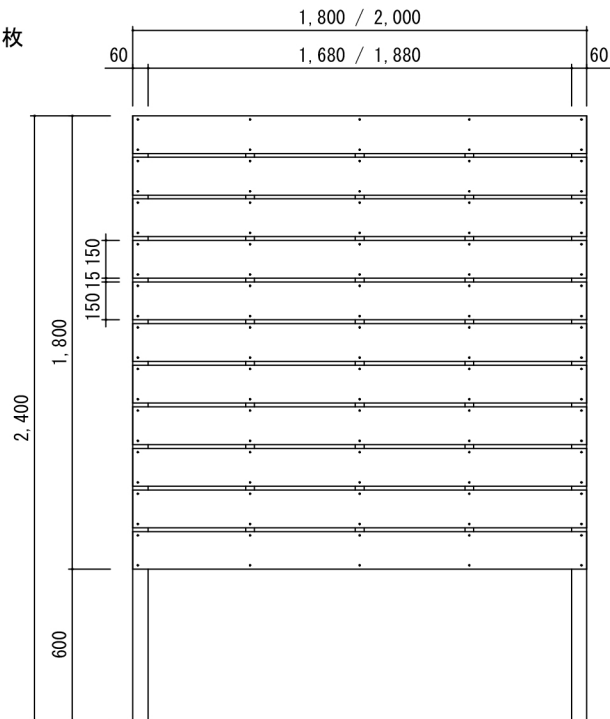
※ 使用する板材について 本製品では

「杉板よしの」または「ベルード」のいずれかの板材を使用します。

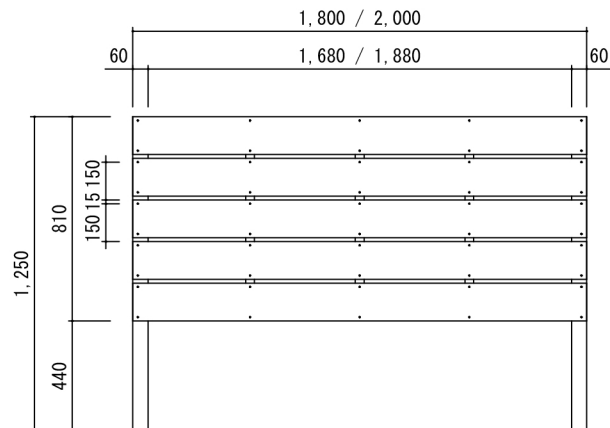
施工にあたっては、選定された板材に応じて以下の手順に従ってください。

1 / 4

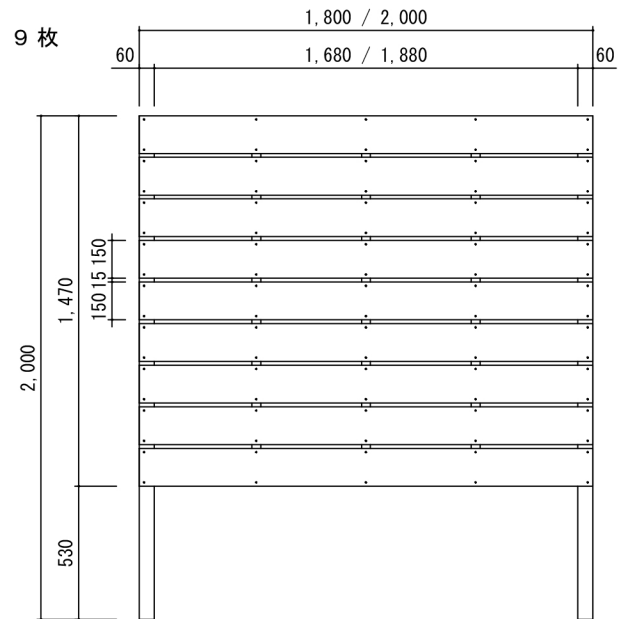
板 11枚



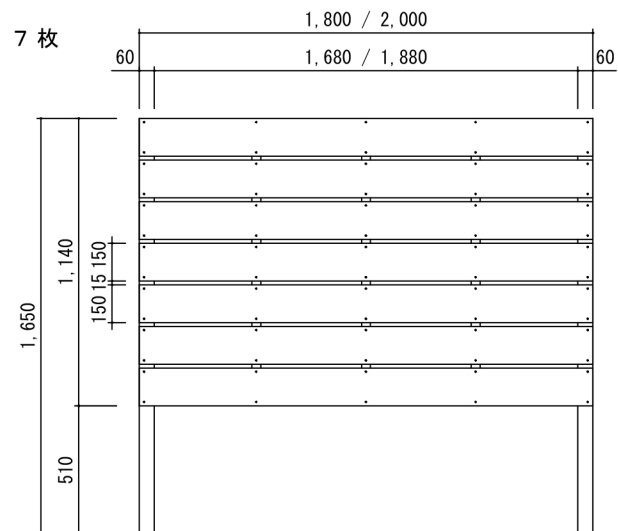
板 5枚



板 9枚



板 7枚

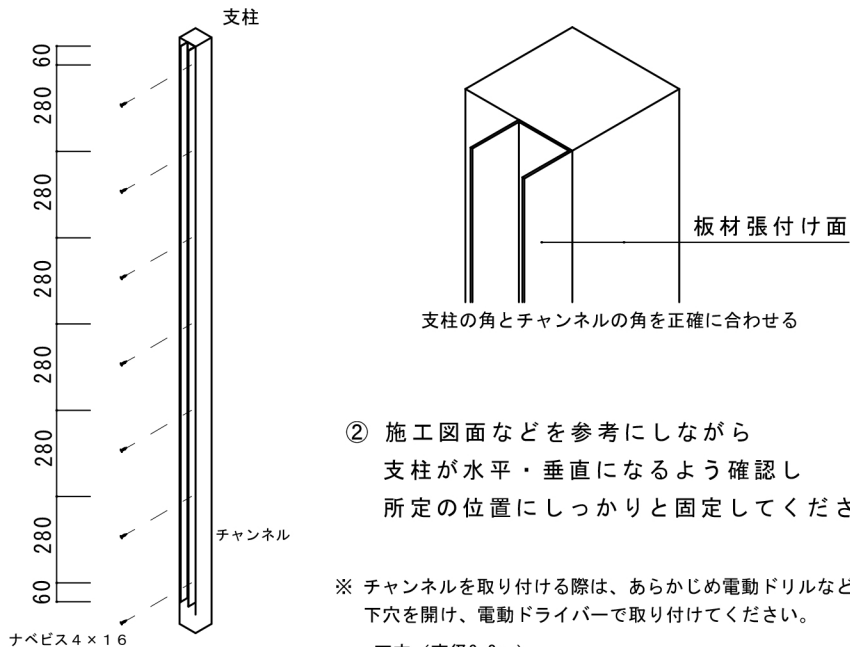


①



① 支柱設置の前に支柱キャップを付属ビスで取り付けてください。

②



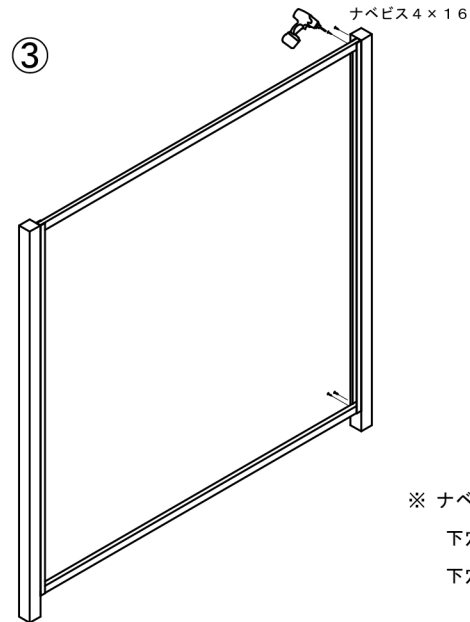
② 施工図面などを参考にしながら
支柱が水平・垂直になるよう確認し
所定の位置にしっかりと固定してください。

※ チャンネルを取り付ける際は、あらかじめ電動ドリルなどで下穴を開け、電動ドライバーで取り付けてください。

下穴 (直径3.2mm)

チャンネル取付 ビス位置（目安）

③

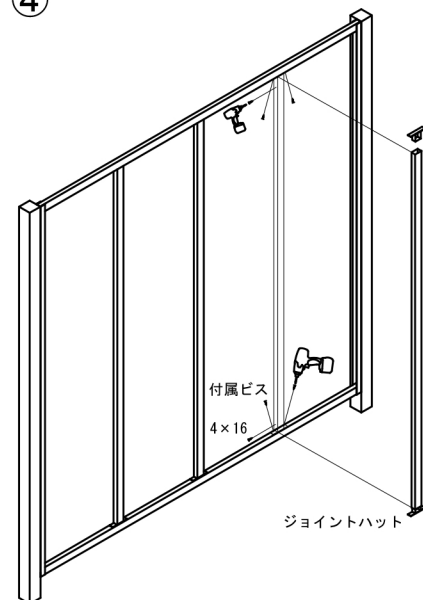


③ チャンネルの上下に胴縁を裏面からナベビス（4×16）で取り付けます。

※ ナベビスで取り付ける際は、あらかじめ電動ドリルなどで
下穴を開け、電動ドライバーで取り付けてください。

下穴 (直径3.2mm)

④

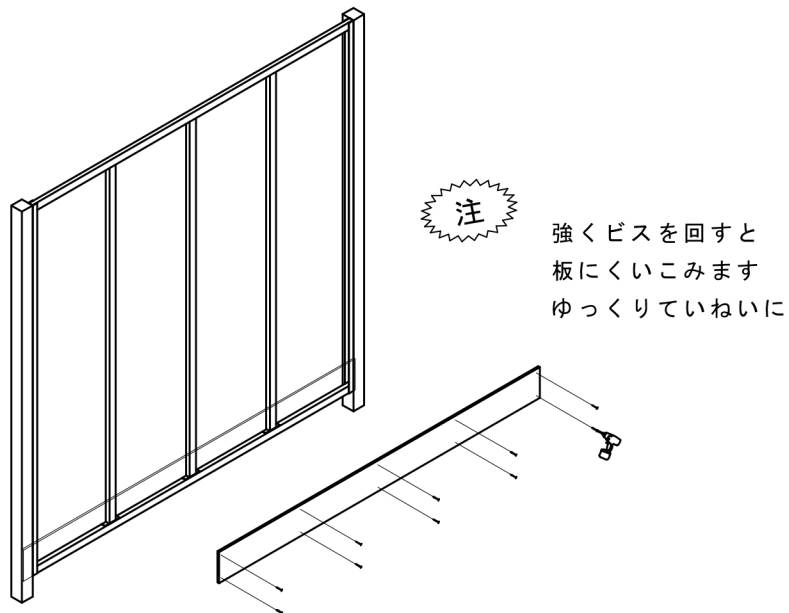


④ 胴縁にジョイントハットを挿入し
チャンネルに取り付けた上下の胴縁の
間に差し込んで、付属のビスで
固定します。

(取り付けは支柱間を均等に割り付け)

胴縁取り付け後、胴縁とジョイント
ハットをナベビス（4×16）
で固定します。

⑤

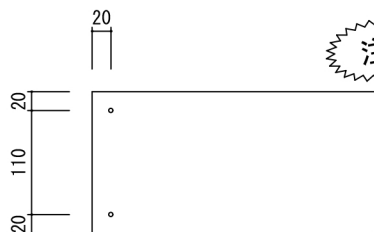


- ⑤ 下段胴縁の位置に板材を合わせ、
シントラスビス（4×25）で固定します。

※ 取り付けの際は、必ず水平を確認し、支柱の
天端と板材の天端が揃うようご注意ください。

板材の幅は150mmですが、製作誤差が生じる場合があります。
取り付け時は寸法をご確認ください。

アルミ部材に、下穴（直径約4.5mm）を開け済みの板材を
取り付ける際は、アルミ側に直径3.2mmの下穴を開け
電動ドライバーでビスを締め付けてください。

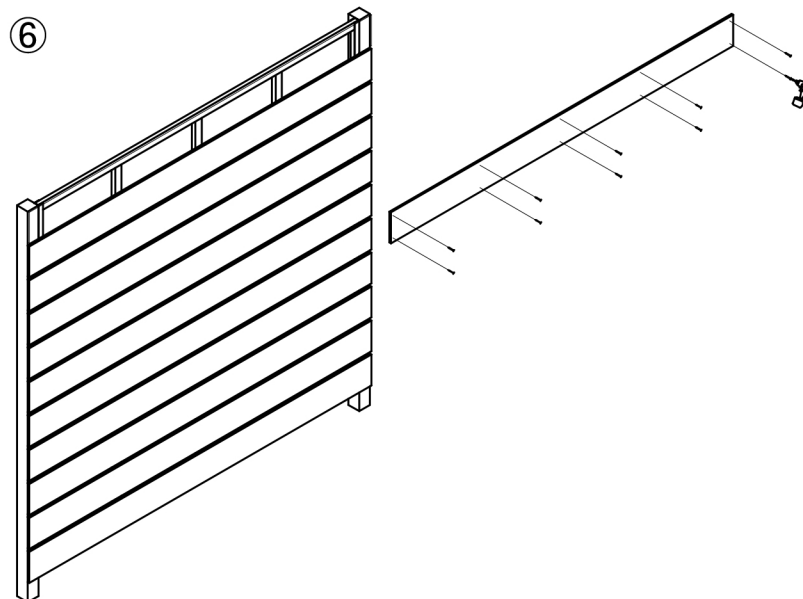


注

ペルードには順目・逆目の向きがあります。
取り付け方向に注意してください。

ビス取り付け位置については、事前に杉板よしのへ
直径約4.5mmの下穴を開けてください。

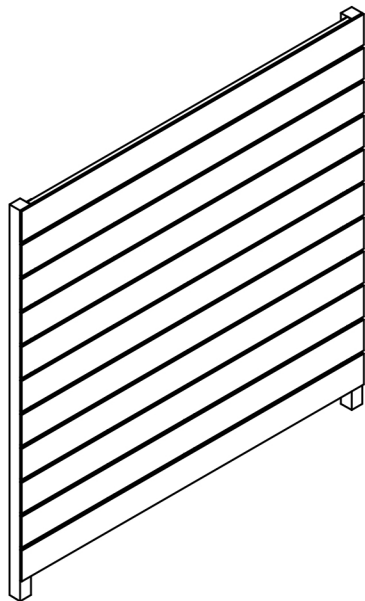
⑥



- ⑥ 板材は下から順に、隙間をあけて
シントラスビス（4×25）で取り付けてください。

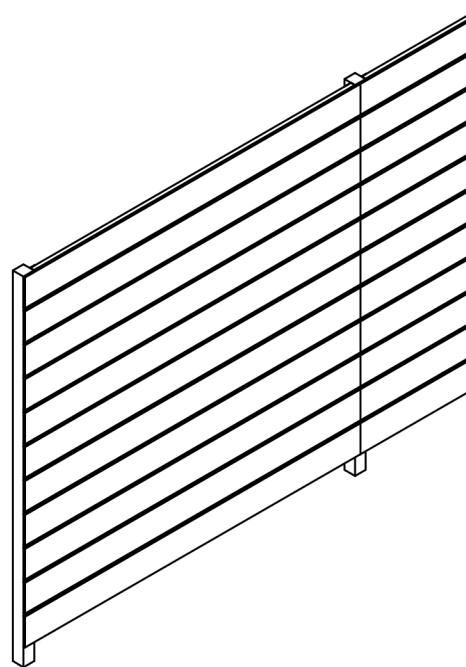
アルミ部材に、下穴（直径約4.5mm）を開け済みの板材を
取り付ける際は、アルミ側に直径3.2mmの下穴を開け
電動ドライバーでビスを締め付けてください。

完成



支柱が隠れるように、板材の端を支柱の角に合わせて取り付けてください。

完成（連続施工）



板材の接続部分が支柱の中心にくるように取り付けてください。